

## C 協働学習

## C3 協働制作

伊那西小学校の4年生は「森の〇〇屋さん」をテーマに総合的な学習の時間に取り組んでいます。

伊那市の第2回「Summer Camp (7月27日に終日実施)」では、「森のジャム屋さん」の取り組みをClipsやiMovieにまとめ、9月28日に上映会を行いました。

かつて、中学校の文化祭や学習発表会では、担当の先生が映像作りを行い、生徒児童が発表を行う姿がありました。

今では、子どもたちが発表内容を企画し映像作りを行って発表会を行っています。



## Clips

Clipsは視覚的に表現するためにぴったりのAppです。

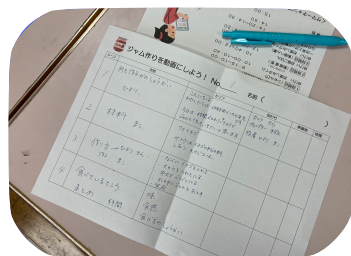
解説ビデオを作るとき、見ている人が物事を視覚的にとらえられることが必要です。言葉で説明するだけでなく、見てわかるように表現することが大切です。Clipsでは、ビデオ、写真、テキスト、ステッカーなど、映像を引き立てるエフェクトを使い、自分のアイデアを表現するショートムービーを作ることができます。

カメラ、Clips、iMovie、などのアプリケーションを使ったビデオの作り方についての基本を「Everyone Can Create (ビデオ)」のApple Bookで身につけることができます。

伊那西小学校の実践は、「解説ビデオ」編を参考にしています。

プロの映画制作者のやり方を紹介しながらムービー制作の基本、シンプルなストーリーを伝える方法や音楽を加えて雰囲気盛り上げる方法も学びます。

「Everyone Can Create」のシリーズは児童生徒、先生のiPadにインストールすることができますので、ぜひ、ご利用ください。



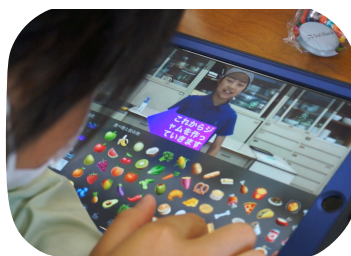
①「ジャム作りの解説動画」を撮影することになりました。シナリオを考え、役割分担をして撮影を行いました。カメラ、プロンプターの役割もあります。



②撮影にあたって、出演者を交代でつとめました。カメラの撮影ではアングルを意識しました。iPadをプロンプターとして使う方法も試してみました。



③どうしたら自分たちの活動の様子が見ている人に伝わるか？先生にもアドバイスをしていただきながら、工夫を加えていきました。



④Clipsを使って動画の編集を行いました。適切な位置にテロップを入れて、わかりやすい解説ビデオに仕上がっていました。



⑤「森の教室」で休み時間に映画会を行いました。他クラスの児童や先生方に自分たちの森での学びについて発表することができました。



⑥映画会のチケットも作って宣伝活動も行いました。当日は、2回の上映を行いました。たくさんの児童や先生方が来てくれました。

※プロンプター カメラに向かって長いセリフを話すときに、セリフを表示して出演者に見えるようにするための装置。

伊那西小学校 4年 横山千佳 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

クリエイティビティは学びをより意味のあるものにします。児童生徒はクリエイティブに表現することで、学習意欲を高め、自分なりの意義を見出し、問題解決に取り組み、主体的に学びを進めるようになります。

授業にクリエイティブな学びを取り入れると、児童生徒は物事概念をよりよく理解できるようになります。クリエイティブな方法で課題に取り組むうちに、批判的思考力、協調性、コミュニケーション能力が磨かれます。学んだことをどのように説明するかを自分で選び、試行錯誤を繰り返すことで、主体的に学ぶ力が身につきます。